

「まかせんさい」 広島市女性農業士 ～この一年をふりかえって～

第8期第1号

(平成22年度)

発行:平成23年3月 (財)広島市農林水産振興センター農業振興課

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30-12

TEL(082)842-44 FAX(082)842-2149

広島市女性農業士とは

広島市女性農業士は、農家女性のリーダーとして広島市が認定するものです。女性農業者の社会参加の促進と、農業者全体の社会的地位向上を目指し地域でさまざまな活動を行なっています。現在24名が認定されています。

第8期広島市女性農業士 誕生



平成22年6月23日、第8期広島市女性農業士認定式が広島市役所で行われ、秋葉市長から認定証書が授与されました。新しく認定された第8期広島市女性農業士3名はこれから2年間の研修をうけ、地域での活動に活かしていきます。

第8期女性農業士 3名のプロフィール

大野良江さん

(安佐北区安佐町)



直売向けに少量多品目の野菜・花きを栽培しており、「ひろしま朝市」や「とれたて元氣市」等で販売しています。

女性農業士としての抱負
「女性農業士として活躍されている先輩方を目標に、勉強していきたい」

木元千鶴さん

(佐伯区湯来町)



トマト、タラ、丸オクラ等を栽培しながら、湯来町農事研究会会長として、地域のまとめ役となっています。

女性農業士としての抱負
「農産物加工をはじめ、様々な分野で研修を重ね、勉強させていただきたい」

杉田晶子さん

(佐伯区坪井)



イチゴ栽培のほか、自宅の加工施設で漬物加工やジャムづくりに取り組み、「ひろしま朝市」などで直売しています。

女性農業士としての抱負
「女性農業士の一員として、しっかりと見聞を広めていきたい。」

第8期女性農業士研修 1年の歩み

22年度は計6回の研修を行いました。

第1回 (6月23日) 女性農業士の心得について ～先輩女性農業士に学ぶ～



認定式後、第1～7期の女性農業士から、今後2年間の研修にのぞむにあたっての心構えや、それぞれの地区での活動の様子などを学びました。

第2回 (10月28日) 表現力の向上について 講師：話し方研究家 大崎恵美子先生

広島市女性農業士として必要な表現力を学ぶために、発声練習、あいさつ、自己紹介のしかたなど、実技を取り入れた研修を行いました。間のとりかたや声の強弱、表情などを実習することで、自己表現の大切さを認識しました。



第3回 (11月26日) 市内農家視察

広島市内の農家を視察しました。
女性農業士の先輩のほ場や加工施設を見学して活躍ぶりを間近で見ることができ、大いに刺激を受けました。



第4回 (1月21日) 女性の視点を活かした地域づくり 講師：山口大学イクステーションセンター 辰己佳寿子准教授



山口県の女性組織活動の事例をきき、地域を掘りおこした女性パワーに胸を打たれました。自分自身や地域について見直す機会にもなりました。

第5回 (2月15日) 湯来交流体験センター視察



湯来交流体験センターにある特産品市場や農業体験施設を視察し、こんにやく加工を体験しました。地元産品であるこんにやくについて勉強でき、消費者交流や地産地消への取り組みについて考えるよい機会になりました。

第6回 (3月15日) 優良事例調査 ～神石高原町～

神石高原町農業委員会女性部会の委員と交流会を行いました。地域のためになるならと、新しい事に挑戦している女性農業委員の皆さん。その姿勢に感銘を受けました。

